※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　理科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	１単位	年次	１年次・２年次継続
使用教科書	科人 061-901「高等学校　科学と人間生活 改訂版」　啓林館						
副教材等	「サンダイヤル高等学校化学と人間生活の学習ノート　改訂版」　啓林館						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学習内容を日々の生活の中で確認し、科学的な見方・考え方を着実に身につけていくようにしましょう。この科目は 1 年次・2 年次と継続的に学習します。身の回りの事象に科学的に探究する力を身に着けてください。

2　学習の到達目標

・日常生活や社会との関連を図りながら知識を習得し，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
・観察，実験などを行い，科学的に探究する思考力，発表やレポート作成において適切な表現力を養う。
・自然の事物や現象に問題を見出し，主体的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物や現象に関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，知識を獲得する方法についても理解し，適切に利用することができる。 自然の事物や現象に問題を見出し，実験・観察・調査を行うとともに，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。	自然の事物や現象に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，自然の事物現象や科学と人間生活の関係を調査研究する方法を身につけ，それらの過程や結果，そこから導き出された考えを的確に表現することができる。	自然の事物や現象に問題を見出し，実験・観察・調査を行うとともに，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	物質の科学	1.生活の中のさまざまな物質 2. 金属 3. プラスチック 4. セラミック	a: 原子の構造，化学結合について理解しており，物質の性質と関係していることを理解している ・それぞれの材料の特徴を把握し，安全で快適な生活のための利用法を理解している。 b: 天然にある素材と人工的に作り出した素材が日常生活の中でどのように使われているかを考え，表現することができる。 c: 私たちの生活に役立っている金属・プラスチック・セラミックスについて，どのような性質が製品として利用されているかを学び，さらによりよい生活のために改良すべき点はないか意欲的に学習しようとする	定期考査	定期考査	ノート レポート
二学期	物質の科学	1.衣食にかかわるさまざまな物質 2.食品にかかわる物質 特集　食品表示と健康 3.衣料にかかわる物質	a: 食品や衣料を構成する物質の多くが高分子化合物であること理解し，天然高分子化合物と合成高分子化合物に分類することができる b: 天然の繊維と合成繊維の性質の違いによる用途の違いなどを的確に考察することができる。 c: 身近な食品中の成分や，衣料材料の性質や用途を追求し，生命の維持と快適な生活にこれらの食品や繊維がどのように利用されているか関心を持ち，意欲的に学習しようとする	定期考査	定期考査	ノート レポート
二学期 三学期	光や熱の科学	1. 熱 2. 熱の発生 3. エネルギーの変換と利用 4. 光 5. 電磁波の利用	a: 熱と温度とを区別でき，熱の性質をこれに関わる現象および歴史から理解し，日常生活に適切に利用できる。 ・電磁波が波長によって分類でき，光もその一つであること，電磁波が日常生活で利用されていることを理	定期考査	定期考査	ノート レポート

※令和４年度以降入学生用

			解できる b: 身の回りに熱に関わる現象を見出し，熱の性質から科学的に思考し，熱を有効利用できるような判断ができる ・幾何光学的な方法によって，光の波としての性質を表す観察・実験の技能を習得し，結果や考察を適切に表現できる。 c: エネルギーに関する科学技術に関心を持ち，科学的な見方・考え方を身につけようとする。 ・自然界に見られる光の現象に関心を持ち，意欲的に調べようとする			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度